

保護者通信 本科1期号【中3生】

本科担当講師から「本科1期授業報告」「夏休みの過ごし方」のメッセージ

【英語】

中3英語 3EJS 石井 直子講師 [いしい なおこ]

この3EJSのクラスは、2年生の時に2EJSだった人、2ENTSだった人、そして3年生になって入会した人、の3タイプの生徒さん達で構成されています。どの生徒さんも3年生になってテキストの内容が難しくなった、と感じているようです。特に2ENTSからの生徒さんは2年生の時よりも更に先取りの学習内容になりましたね。でもそれは他の生徒さん達も皆同じです。本科1期で扱った「仮定法」と「関係詞」は2EJSからの生徒さんにとっても応用度が増して、初めて習う内容も多くありました。生徒の皆さんは、初めての単元でも、意欲的に取り組んでくれました。習った文法事項を英作文などで自分で使いこなせるように楽しかったですね。他に3年生になって難しい英文和訳も加わりました。複雑な構成の英文を読み解くには、正確な文法の知識が必須です。夏期講習では、1期に扱った文法単元の復習と共に、読解問題にも取り組みます。毎回の授業をしっかりと復習して、充実した夏休みにしましょう。

【数学】

中3数学 3MJS 阿部 義信講師 [あべ よしのぶ]

本科1期では数と式、2次関数、集合と論理という3つの単元を指導しました。これらの単元は数学IAの入り口であると同時に、数学IIB以降でも必須のテクニックがたくさん含まれています。例えば、平方完成により最大値・最小値を調べる手法は今後もさまざまな単元で用いますし、必要条件・十分条件や同値の考え方を考慮しないと適切な解法をとれない問題もあります。付け加えて、中学数学と高校数学の大きな違いが「場合分けの有無」です。本科1期では、絶対値・二重根号の処理、2次関数の最大・最小などを通して場合分けを練習してきました。今のうちに慣れておけば大きな武器となるでしょう。単に解法を機械的に覚えるのではなく、解法の狙いを考え理解することで、他の類題へ応用できる知識を身につけてほしいと思います。夏期講習では集合と論理、2次関数について、高度な内容も含め、より深く学んでいきます。中高一貫校に通う中3生はこの時期に中だるみ状態になりがちですが、気を抜かずに復習に取り組んで下さい。

中3選抜東大・医学部数学 3MJSS 石田 浩一講師 [いしだ こういち]

本科1期では高校数学の平面図形と式、三角関数、指数・対数関数を学びました。高校数学の中心的内容にあたります。平面図形と式の単元では、対象の特徴によって手法を使い分けるといったスタイルが必要となりました。しかし、「方法を一つ覚えたらそれで答えが出るのだから、他の方法は理解しない」といった姿勢のままだと、実際には正解にはたどり着けないということが起こっています。「答えを出せばいい」のではなく「手法を理解する」べきだという意識を持ちましょう。三角関数、指数・対数関数については、式や文字の意味の理解が重要でした。それぞれの式が何を表しているのかを具体的な例に戻りながらきちんと理解しましょう。数学は「計算」ではなく「意味の理解」が大事だということがそのまま現れる単元です。夏期講習までに本科1期で扱った単元の例題と考え方をしっかりと復習しておきましょう。

★学習は継続していくことが何より大切です。1学期中で習ったことを夏期講習中にしっかりと定着させ、また2学期も新しいことを学習していきましょう。

Z会東大進学教室メテウス 教室窓口受付時間 14:00~21:00(月~土曜日)※講習期間中は異なる場合あり
御茶ノ水教室 03-5296-2828 渋谷教室 03-5774-2828 新宿教室 03-5304-2828
池袋教室 03-5985-2828※[池袋教室は月曜休室日]